

地域とともに育む「若者が帰るまちづくり」プロジェクト(子育て一番みやづ)

〔宮津市〕

総事業費:65,621千円

事業の概要・背景

【概要】

○小中一貫教育の「学院」を中心とした保幼小中高の連携や地元食材による食育の推進などに子ども・保護者・地域・事業者等が一体となって取り組むことにより、若者の地元定着や家族世帯の移住・定住を目指す。

【背景】

○進学や就職を機にまちを離れる若者が多い。地域でも若者が地域を離れることについて、やむを得ないと思っている現状がある。
○子育て支援センター「にっこりあ」や新市立図書館などの評価は高いが、その機能強化や周辺地域への効果拡散が必要である。

主な事業

◇: 交付対象事業
◆: 関連事業

- ◇「子育て支援センターにっこりあ」×「市立図書館」充実事業
- ◇公立幼稚園給食スタートアップと「みやづ食育」推進事業
- ◇宮津地域創生教育推進協働プロジェクト(仮称)設置
- ◆のびのび放課後児童クラブ運営事業

事業成果指標

- Uターンを希望する高校3年生
- 子ども、子育て世代の転入数
- 連携事業の参加者

| 令和元年(基準値) | 令和6年(目標値) |
|------------|-----------|
| 26.7%(H27) | 50.0% |
| 410人 | 800人 |
| 106人 | 500人 |

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

市中心部にある既設子育て支援センター「にっこりあ」の機能拡充により子育て世代のサポートを強化
宮津、栗田両地区中心部に集中している小・中学校の小中一貫教育「学院制」の強みを活かした保幼小中高の連携と地元との交流を実施

- 小中一貫教育の強みを活かした中学卒業までの「ふるさとみやづ学」の展開、高校との連携強化による、一貫した郷土教育を推進し、子ども・若者の郷土愛を育む。
- 将来の子育て世代となる子どもとその子どもを産み、育てる親世代の双方にアプローチすることで、移住定住の好循環を生み出すことが狙い。

